

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	(簡水)企業債元金償還金	会計名称	水道特別			担当課	水道課		
		予算科目	2 款 2 項 1 目	事業番号	9947	所属長名	野島康博		
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）					担当責任者名	飴矢百合		
法令根拠等	地方財政法					実施期間	【開始】	令和 / 平成 2 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造						【終了】	令和	年度(予定)
	潤いのある水環境づくり							☒ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	元金償還費の適切な予算の執行事務								
事業の対象	地方債借入先				事業の目的	簡易水道事業の経営安定のため地方債発行の抑制と未償還残高の縮減に努める。			
事業の内容（整備内容）	簡易水道の各事業で起こした地方債の借入先に対して元金の償還を行う				評価事業としないこととした理由	裁量のない事業であるため			

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2 年度予定	9月末の実績	2 年度実績
直接事業費	32,639	33,568	0	0	0	33,568	地方債元金償還金	千円	32639	33568	16666	33568
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	32,639	33,568	0	0	0	33,568						
職員の人工（にんく）数	0.01	0.03				0.03						
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費＋人件費	32,719	33,802				33,802						
主な実施主体	直接実施	実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）										
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）					3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計		
					34,527	35,516	32,614	27,189	25,502	155,348		

事務事業評価（CHECK）

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	支払明細に基づき、2年度地方債元金償還を行い、未償還残高の縮減に努めた。	
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由 企業債借入に伴う必要経費であるため、事業継続と判断する。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐			
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	